

受付番号： I2025-024

課題名：循環器疾患における加齢性白血球の機能解明

1. 研究の対象

40 歳以上で東京科学大学病院を外来受診、または入院された方

2. 研究期間

2025 年 6 月 17 日（研究実施許可日）～2030 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2025 年 6 月 17 日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

今回の研究では、参加者の血液を使用して白血球の種類、数、そのゲノム・遺伝子発現、機能を調べ、循環器疾患にどのように影響するかを解明し、新たな診断法・治療法の可能性を検討することを目的としています。

5. 研究方法

本院にて、心電図検査と血液検査を受けていただきます。

バイオリソースセンターへの登録にもご同意いただける方には、追加で採血を実施し、DNA（遺伝子情報）を保管させていただき、遺伝子解析を実施します。すでにバイオリソースセンターへ登録済みの方は、保存されている DNA を活用致します。

登録された方々については、来年以降の血液検査データ、心電図を拝見いたします。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液、心電図

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、内服薬、喫煙状況、飲酒状況など

7. 外部への試料・情報の提供

この研究の成果につきましては、研究参加者を特定できないようにした上で、国内外の学会や学術誌（論文）などでの発表を予定しております。また論文を投稿する際に雑誌社が、本研

究で得られた一部のデータを個人が分からないようにした状態にして、データベースへ登録することを求められることがあります。そのような場合には、個人を特定できない状態で登録を行います。原則として、審査された研究者のみにアクセスが制限される「制限公開」の枠組みを利用して行います。

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われえないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は大学の運営費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学大学院 循環制御内科学分野 特任助教 山添正博
連絡先：03-5803-5231

当院の研究責任者：東京科学大学大学院 循環制御内科学分野 教授 笹野哲郎

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ
03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）